

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
災害看護論	NSP42_001	必修	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
堀口 まり子	410	mariko.horiguchi	木曜日 15:00～18:00		
授業の目的・概要	地域や人々の生活を脅かす災害とその原因及び健康生活への影響、災害サイクルについて学ぶ。災害の発生から復興までの医療・看護の活動現場に応じた被災者の生活ニーズに応じた看護活動とその特徴を理解し、災害看護の知識と技術を修得する。 また、災害医療・看護の特徴と看護者に求められる役割を学び、被災者への生活支援・看護職に求められるコーディネータとしての役割を理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中およびリアクションペーパー、オフィスアワーにて受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めてほしい。				
教科書	看護の統合と実践② 災害看護学 /編:小井土雄一、石井美恵子 /メヂカルフレンド社 /2020				
参考書	授業の中で指示する。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	災害の種類と疾病構造、災害サイクルの特徴を説明することができる。		NS(4)(5)		
②	災害が地域や人々の健康や生活に及ぼす影響を説明することができる。		NS(1)(2),NS(4)(5)		
③	災害サイクルに応じた看護の役割について説明することができる。		NS(4)(5)		
④	病院における災害時の院内外での医療救護活動について説明することができる。		HSU(3),NS(4)(5)		
⑤	被災者および救護者の災害によるストレスとその対処法を説明することができる。		NS(1)(2)(4)(5)		
⑥	自然災害 発災時の初期行動等について説明することができる。		NS(1)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	災害時の保健医療とは 災害および災害看護に関する基本的知識	講義 GW・発表	国内外の災害、災害看護に関する事柄を新聞、教科書等から情報を得ておく。学習内容を教科書に沿って理解し授業に臨む。	1	
2	災害時の保健医療とは 災害看護とは			1	
3	災害保健医療対応の理解 災害の理解 災害サイクル	講義	災害時の医療救護活動と法制度、CSCATTT、DMAT、DHEAT、救護活動について理解し授業に臨む。	1	
4	平時の救急医療と災害医療 災害と法制度 CSCATTT DMAT			1	
5	災害保健医療対応の理解 災害時の倫理原則と課題		災害時の倫理原則と課題について要配慮者への救護について	1	
6	要配慮者への救護 災害サイクル各期と看護の役割	講義	超急性期、急性期、亜急性期、慢性期、静穏期の医療各期のニーズと看護実践について	1	
7	子ども 妊婦褥婦 高齢者 障害者 継続治療 医療依存度の高い人		トリアージの方法、実施場所、トリアージタグの記載方法について	1	
8	超急性期・急性期の災害保健医療と看護実践 トリアージ		理解し授業に臨む。	1	
9	亜急性期の災害保健医療と看護	講義	災害サイクルに対応した医療と看護の役割をレポートする。	1	
10	慢性期・静穏期の災害保健医療と看護	GW・発表		1	
11	災害に関連した特殊な医療・看護実践	講義	災害時特有の疾病について特殊な医療・看護実践、について	1	
12	災害時の特有の疾病		理解し授業に臨む。	1	
13	災害現場での実際	講義	災害現場での実際	1	
14	災害の発生から終息までの看護/看護学生の役割	GW・発表	災害の発生から終息までの看護/看護学生の役割を考え授業に臨む。	1	
15	災害についての各自の考え方の変化と実際の場面での取り組みについて	講義 GW・発表	各自の考えの変化と看護/看護学生の役割を考えレポートする。	1	
試	定期試験				

【専門教育科目/看護の統合と発展】

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	60	20	0	0	20	100
	思考・推論・創造する力	40	10	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	10	10	0	0	0	20
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	筆記試験により学習成果を評価する。講義の内容と看護師国家試験問題の試験とする。				必要に応じて結果をフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	レポートにより、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを評価する。				授業内でフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワークでの取り組みの姿勢・意欲や授業の出欠席も踏まえ総合的に評価する。				授業中に助言を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	科目責任者は病院の看護師として40年の臨床経験を有し、病院において災害看護を経験している。						
実践的授業の内容	災害時の広域大規模訓練、災害時の実務経験を元に、内容を構築し、災害看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> 試験への教科書持ち込みは不可とする。 授業には特別の理由がない限り毎回出席し、理由のない授業の出欠席は減点とする。 						